
ノン カピスコ・彼女の卵

天野 涙

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ノン カピスコ・彼女の卵

【Nコード】

N0122E

【作者名】

天野 涙

【あらすじ】

不妊で悩む真理子は、友達の由実の卵子をつかって体外受精をするが・・・。

私の人生に足りないのは子供。

優しい夫、きれいな家。看護師と言つやりがいのある仕事。

しかし子供だけが足りなかった。

それが足りないばかりに、義母に厭味を言われ、私は焦っていた。

夫の実家は、由緒ある家柄で、絶系は許されない。

その上、卵巣に欠陥がみつきり、

妊娠が困難であることがわかったのだ。

夫は『仕方ないよ。』と言つてはくれるが、私は諦めきれなかった。

そんな時、由美にばったり会ったのだ。

駅前のスーパー、久しぶりだった。彼女は小学生の子供と一緒に。

噂では離婚し、実家近くに母子で暮らしていると聞いた。

色白の美人で、男子にも人気があったのだ。

久々に会った由美は、少しやつれてはいるが、きれい。

『あら、久しぶり。』由美は屈託なく笑い、私に近付いてきた。

私はつい、話を聞いてもらいたくて、由美を家に招き入れたのだ。

『へえ、それは深刻ね。』

由美は、同情したように言う。傍らには息子の健太が、ヨーグルトを食べていた。

家につくなり、『ママ、お腹が空いた。』と言うので、冷蔵庫にあった買い置き物をあげたのである。

（なんかイヤな子）そう思った。

でも子供だから、仕方がない。そう思うことにしたのだ。

『じゃあ、私の卵子あげてもいいわよ。』と唐突に由美が言い出す。

彼女の卵子と夫の精子を体外受精させて、私の子宮に戻せばいい・・
由美はそう言った。

私には女の姉妹がない。知らない誰かの卵子の提供を受けるよりは美人で、優等生だった由美の卵子をもらう・・それはいい考えかもしれない。

そう話がまとまると、夫にも承諾を得て、由美の卵子の提供で私達は体外受精をしたのだ。

その間、彼女に何かお礼をと思っていると、由美は

『うちの子を、私が帰宅するまで 預かってくれるだけでいいわ。その方が、私も安心だし・・』と控えめに笑ったのだ。

しかし、実際は週4回は、彼女の帰宅が遅く

息子の健太は うちで夕食を食べることになり、何ともやりきれない思いがした。

おまけに、お風呂まで 夫とはいる始末。

夫は帰宅すると、健太を膝に抱いたりしたのだ。

由美と言えば、悪びれる風もなく、その都度口だけは申し訳なさそうにしていた。そして何やら、最近はふっくらとしてきたのである。

しかし・・肝心の体外受精は 度々失敗に終わる。

私は、正直イラだっていた。

そしてある日、つい由美に言ってしまう。

『また、失敗してしまったわ。』と

由美は一瞬眼を見開き、キツイ口調で言った。

『何？ソレは、私の卵子のせいだと言いたいのか？』

あまりの口調に、私は少したじろぐ。

『いえ・・・ごめんなさい。つい言ってしまったって悪かったわ。』

『だいたい、あなた、卵子だけでなく、ハタケそのものも欠陥なんじゃない？』

『・・・』

『私は、簡単に出来たわよ。あなたのご主人の子供。』

『え？』

『お義母サンも喜んでくれたわ。孫を早くみたいって。』

『・・・???』

『子供も産めない嫁なんていらなんて。体外受精なんて、かったるいことやめて、』

『ご主人も、私に直の方が気持ちいいし、楽じゃない。』

もう、私の居場所はなくなっていた・・・。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0122e/>

ノン カピスコ・彼女の卵

2010年12月10日23時19分発行